

平成30年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

山形県立酒田光陵高等学校

<b>学校教育目標</b> 1 進取の気性を持ち、知徳体が調和し、心身ともに健康な人間を育成する 2 高い専門性と国際的な視野を持ち、公益の心を持つ創造力豊かな人間を育成する 3 地域の産業や文化・環境を理解し、地域を大切に思う人間を育成する		<b>重点目標</b> 1 豊かな心と健やかな体の育成 2 社会を生き抜く基盤となる確かな力の育成 3 学校・家庭・地域との連携・協働による開かれた学校づくり
<b>目指す学校像</b> 1 普通教育と専門教育を併せ持つ、学際的な教育を展開する高校 2 特色ある教育活動を展開し、多様な進路希望を実現できる高校 3 公益活動、自然環境の保護、及び国際化に取り組む高校 4 地域と連携・交流し、地域社会の発展を担うリーダーを育成する高校 5 スポーツ・文化活動の地域拠点校としての役割を担う高校	<b>育てる生徒像</b> 1 豊かな心とたくましい体を持ち、社会から信頼される人 2 公益の心と高い志を持ち、自己実現を図る人 3 高い専門性と実践力を身につけた、将来のスペシャリストとなる人 4 自分が育った地域を大切に思い、地域を支えていく人	

達成度	A・・・達成	B・・・概ね達成	C・・・やや不十分	D・・・不十分
-----	--------	----------	-----------	---------

自己評価(年間)					学校関係者評価	総括
番号	評価項目	具体的方策と指標・基準等	目標達成状況及び取組み状況	達成度	次年度に向けた改善策	意見・要望・評価等
1	豊かな心と健やかな体の育成	①笑顔とやさしさ、挑戦する勇気を育む教育の推進 ②端正な装いと元気で明るい挨拶の推進 ③心身の健康バランスを育てる部活動の充実	・挨拶については、校内外ともに評価が高いが、一方問題行動や特別指導は対前年比で増加した。 ・運動部、文化部ともに活発な活動ができています。戦績としても全国優勝、国際大会入賞を果たすことができました。	B	・「考える力の育成」という視点から自己を見つめ直させる指導をしたい。 ・「部活動の在り方に関する方針」に基づいて、魅力ある部活動とその活性化に継続して取り組む。	・問題行動については、個に寄り添ったきちんとした指導が必要である。 ・SNS等との無責任、軽率な関わり方でトラブルや非遵行為とならないよう適切なモラル指導をお願いしたい。
2	社会を生き抜く基盤となる確かな力の育成	①基礎学力の定着に資する、授業改善の研究と実践 ③生徒の主体的な学びに資する、新たな授業方法の研究と実践 ③社会人基礎力を育てるキャリア教育の充実	・「生徒による授業評価」はGoogleクラスルームで実施し、授業改善の視点としている。 ・テーマを定めての授業研究やその実践については、教科単位で取り組むことができました。 ・企業や大学等との連携授業で、社会人基礎力を大いに高めることができました。	A	・研究授業や指導法の改善については一部の教科にことまどることなく全教科で取り組む。 ・特に、発表する力や伝える力などのコミュニケーション能力を高める授業を意識し、考え抜く力を鍛えて社会人基礎力をさらに高めたい。	・考える力の育成には、生徒の興味関心を支え、自らやってみたいという思いをサポートする態勢が必要。 ・他クラス・他学科等の、自分と違う集団と交流させることで、社会を生きる様々な力が育まれるのでは。
3	学校・家庭・地域との連携・協働による開かれた学校づくり	①地元を知る学びの推進 ②地域貢献に資する教育活動の推進 ③ICTを活用した情報の発信と共有の充実	・地域理解や地域探究と学校設定科目「公益と産業社会」との関係性を再検討する必要がある。 ・酒田光陵地域協働本部としての一般社団法人「SKIES」の活動を商業科から情報・工業・普通科へと広げることができた。	A	・学校設定科目「公益と産業社会」の年間指導計画の見直しを図る。 ・「SKIES」の組織・事業内容について引き続き検討・整理する。	・社会人になっても世の中の動きを知らない若者が見受けられる。高校生のうちから読書に加え新聞を読むことも必要ではないか。  ・四学科の学習活動・成果が相互に交流・連携することでより効果を上げながら地域に貢献できるよう、探究・制作(製作)・流通・情報発信が一体となる学習活動を進めます。
自己評価及び学校関係者評価の改善点等		・「学校評価アンケート」等を紙媒体に加えスマホ利用のデジタル媒体も可能にしたことから回収率が上がり、より多くの学校への声を聞くことができた。 ・寄せられた声への応答等、双方向でのやり取りが可能な方策も引き続き検討してほしい。				